

# オオタバコガ情報第1号

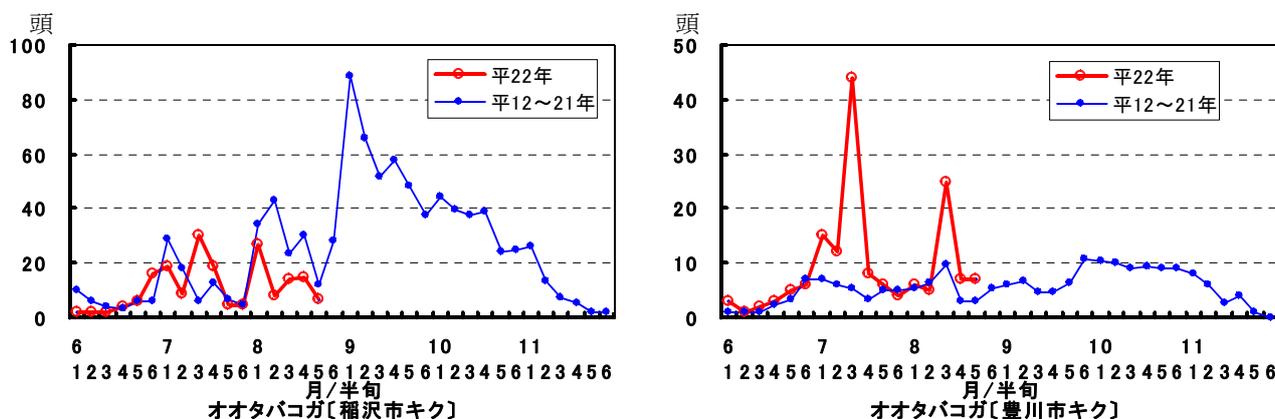
平成22年9月1日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除グループ

## 1 発生及び被害概況

オオタバコガは、花きや野菜を加害する害虫で、キクでは9～10月に開花する作型で被害が最も多く、花蕾が加害されたり、心止まりとなります。キャベツでは結球部が加害され、商品価値が著しく損なわれます。8月下旬のキクの調査では、尾張の一部で被害株率が高いほ場が確認されています。

## 2 フェロモントラップにおける誘殺状況

キクほ場に設置したフェロモントラップの誘殺状況は、稲沢市ではほぼ平年並に推移しています。一方、豊川市では平年よりやや多く、7月第3半旬と8月第3半旬の2回の発生ピークが認められました（下図）。なお、キャベツほ場に設置したフェロモントラップの誘殺数は8月下旬現在、平年並に推移しています。



オオタバコガのフェロモントラップにおける誘殺状況

## 3 今後の予測

気象予報によると、9月の気温は高いと予想されるため、9月以降の成虫の発生も多くなると予測されます。

## 4 防除対策

- 中齢以降の幼虫は防除効果が劣るので、早期発見、早期防除に努めましょう。
- キャベツの育苗施設や苗床では、成虫の侵入を防止するため、防虫ネットで被覆しましょう。
- 薬剤感受性が低下しないように、同一系統の薬剤を連用しないようにしましょう。

オオタバコガに対する主な防除薬剤と使用基準

作物	薬剤名	薬剤の系統 <sup>注)</sup>	希釈倍数(倍)	使用時期	使用回数
				収穫前日数	
キク	デルフィン顆粒水和剤	a	1,000	発生初期	—
	ラービンフロアブル	b	1,000	発生初期	6回以内
	ロムダンフロアブル	c	1,000	発生初期	5回以内
	プレオフロアブル	d	1,000	発生初期	2回以内
	スピノエース顆粒水和剤	e	2,500~5,000	発生初期	2回以内
キャベツ	ファルコンフロアブル	c	2,000	収穫7日前まで	2回以内
	プレオフロアブル	d	1,000	収穫7日前まで	2回以内
	コテツフロアブル	f	2,000	収穫3日前まで	2回以内
	フェニックス顆粒水和剤	g	2,000	収穫前日まで	3回以内

注) 薬剤の系統 a=BT剤、b=カーバメート系、c=IGR剤(脱皮促進)、d=プロペニルオキシフェニル系、e=スピノシン系、f=ピロール系、g=ベンゼンジカルボキサミド系